

～お住まいの地域での安心安全まちづくり活動を紹介します～

## 佐川町 佐川高校生による地域安全活動

県立佐川高等学校(校長:渡邊紀)では、平成23年10月から、生徒会を中心として、防犯ボランティア活動を行う「地域まもる隊」を結成し、佐川町内での地域安全活動を行っています。

主な活動内容は、毎月1回程度、地元小学生が登校するのに合わせ、他のボランティアの方々と一緒に街頭に立って見守り活動を行い、通学の安全に努めています。

また、今年7月には、町内の祭りで、参拝客に「還付金詐欺に注意」などと記載された地域安全啓発うちわを配布するなど、幅広く啓発活動を行っています。

同校3年・生徒会長の結城拓実さんは「私たちの活動が小学生たちのお手本となるように、しっかりと頑張っていきたいです」と意気込みを語ってくれました。



## 室戸市 振り込め詐欺の被害防止はがきを送付



県内では、医療費がもどってくるなどかたる還付金詐欺、高金利をうたった金融商品取引の詐欺といった振り込め詐欺などの被害が続いています。

このような中、今年8月、室戸地区地域安全協議会(会長:小松幹侍)の呼び掛けによって、室戸郵便局と室戸岬郵便局が、振り込め詐欺被害防止を呼び掛ける暑中見舞いはがき「かもめーる」を、室戸市や東洋町の計1,150世帯に送付しました。

送付した「かもめーる」には「その電話…サギかも!」などとメッセージが記され、注意を喚起するものとなっています。

郵便局員からはがきを手渡された室戸市浮津の川本静香さんは、「振り込め詐欺の被害は、日ごろみんなで気を付け合っています。このはがきもいい取り組みだと思います」と話してくれました。

